

平成31年2月22日

報道関係者 各位

福岡工業大学とのアプリ開発等連携に係る成果報告会の開催について

標記のことについて、平成30年度において、本市は包括連携協定を締結した福岡工業大学とアプリ開発や実験・研究について連携してきました。このたびこの一年間の開発・研究の成果がまとまったことに伴い、成果報告会を開催しますのでお知らせします。

記

- 1 報告会名称 島原市 PBL 成果報告会
※PBL＝課題解決型学習（プロジェクトベースドラーニング）
市の行政課題を学生が聞き取り、分析したうえでアプリ等の開発や
実験・研究を行い解決することを学ぶ学習のこと
- 2 開催日時 2月25日（月） 13：30～15：30
- 3 会場 市役所外港庁舎（雲仙復興事務所2階） 会議室
- 4 人員数 ①福岡工業大学 成果発表者（学生）6名、オブザーバー（学生）8名
教員2名、職員1名 合計17名

②島原市 古川市長及び3つの課題解決型学習に参加した
・市職員 11名
・島原観光ビューロー 2名 合計14名

①+②合計31名

5 成果報告会の概要

以下の3つのプロジェクトの成果を福岡工業大学の学生（4年生）が発表します。

- ①観光PRを目的とした武将との顔比較アプリケーションの開発
（島原観光ビューロー、しまばら観光おもてなし課）
- ②島原城における観光客の位置情報推定システムの研究
（島原観光ビューロー、しまばら観光おもてなし課）
- ③島原子育て応援チャットボットの開発
（こども課、市保健センター）

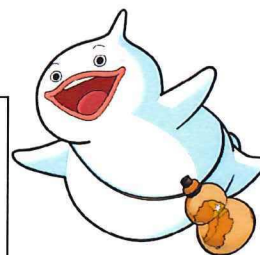
6 包括連携協定について

- 平成30年10月12日に本市と福岡工業大学の間で包括連携協定を締結しています。
- 平成30年度においては、以下の連携事業を実施しています。
 - ①行政課題解決のためのPBL（課題解決型学習）（本件。6月～2月）
 - ②総務省実証事業 地域におけるICTの学び推進事業（ロボット教材を使った小学生向けクラブ活動）を連携して実施（7月～3月）
 - ③市役所へのインターンシップ（学生2名）の受け入れ（8月）

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市 政策企画課 メディア戦略班 担当 中村
電話：0957-62-8012
E-mail：joho@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん